

呉の歴史

1. 呉鎮守府の開庁 明治22(1889)年

嘉永6(1853)年、ペリー艦隊の来航をきっかけに、日本は開国します。外国の著しく発達した造船技術を目にした日本は、強い危機感を抱きました。



そこで日本は・・・

海軍をつくり、その拠点となる

日本各地に設置していきました。

※海軍基地の防衛、水兵の教育、艦艇の整備などを行う、軍港に設けられた海軍の機関のこと。



呉鎮守府は日本列島に4ヶ所あったんじゃ。



【ヒント】

- ② 長崎県
- ③ 京都府
- ④ 神奈川県

呉の歴史

鎮守府の候補地に呉が選ばれた理由

◆ 北は、三方を山に囲まれており、南の呉湾は、入り口が狭く、

⑤ に囲まれ、**防御に優れた土地** だったため。

この時代は、まだ飛行機による攻撃を予想していなかったから、船で攻撃されるのを防ぐことができる土地が必要だったのね。

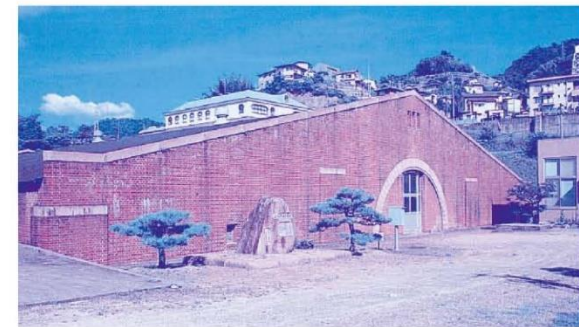


◆ 呉湾の広さや深さと、背後の土地の広さが、艦艇を建造するために適していたから。

インターネットで、呉の航空地図を見よう！

◆ **豊富な良い** ⑥ を確保しやすかったから。

船って出港すると、何カ月も港を離れるわよね。だから、乗組員の飲み水をたくさん船に積まないといけないの！その飲み水に適した水が呉には豊富にあったんだって。



▲明治23年に造られた呉市宮原浄水場